

事業の用に供する施設の種類及び数量

積替保管施設

【産業廃棄物の積替保管施設】

保管場所の番号	積替保管施設詳細
保管場所 1	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9</p> <p>種類： 廃油（タールピッチ類、紙くずとの混合物を含む。）</p> <p>面積： 2.25㎡ 保管上限：1㎡</p> <p>環境保全対策： 容器としてフレコンバッグを使用して飛散防止を図り、鉄製ヒサシの下に保管して雨雪を防ぎます。保管施設の床面はアスファルト製とし、廃棄物と土壌の接触、滲出水の地下浸透を防ぎます。</p>
保管場所 2	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9、2 番 10</p> <p>種類： 廃プラスチック類</p> <p>面積： 213㎡ 保管上限：191㎡</p> <p>環境保全対策： 保管施設の周囲三方を高さ1～3mのネットで囲い、残り一方は建屋の壁により廃棄物の飛散を防止します。保管施設の 2 箇所の出入り口は、営業時間外、及び強風時はカーテン式のネットで出入口をふさぎ廃棄物の飛散を防止します。</p>
保管場所 3	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 11</p> <p>種類： 紙くず</p> <p>面積： 9.87㎡ 保管上限：5㎡</p> <p>環境保全対策： 保管施設を建屋内に設置し、容器としてフレコンバッグを使用することで飛散を防ぎます。</p>
保管場所 4	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9</p> <p>種類： 木くず</p> <p>面積： 29.9㎡ 保管上限：19.0㎡</p> <p>環境保全対策： 鉄製デッキガーターで三方を囲い飛散を防止します。保管施設の床面は敷鉄板で、デッキガーターの開口側の床面端部には鉄製アングルを防水堤として溶接し、木くずと接触した雨水などの地下浸透を防ぎます。</p>
保管場所 5	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 1 番 17</p> <p>種類： 繊維くず（廃プラスチック類との混合物を含む。）</p> <p>面積： 30㎡ 保管上限：24.8㎡</p> <p>環境保全対策： アスファルト舗装面上で保管して、廃棄物と土壌の接触、滲出水の地下浸透を防ぎます。保管する廃棄物は主に廃畳とすることで飛散を防ぎます。</p>
保管場所 6	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9、2 番 11</p> <p>種類： 金属くず（廃プラスチック類、木くずとの混合物を含む。）</p> <p>面積： 4.2㎡ 保管上限：3㎡</p> <p>環境保全対策： 容器として鉄製容器を使用し飛散を防止します。鉄製ヒサシの内側に保管施設を設置し、金属容器にはシートで覆いをかけて雨雪を防ぎます。</p>

<p>保管場所 7</p>	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9 種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（グラスウール、ロックウール） 面積： 27.63㎡ 保管上限： 15㎡ 環境保全対策： 鉄製デッキガーターで三方を囲い、容器としてフレコンバッグを使用して飛散を防止します。</p>
<p>保管場所 8</p>	<p>設置場所： 帯広市西 20 条北 4 丁目 2 番 9 種類： 鉢さい 面積： 2.25㎡ 保管上限： 0.12㎡ 環境保全対策： 蓋つきドラム缶を容器として使用し飛散を防止します。 鉄製ヒサシの内側に保管施設を設置して雨雪を防ぎ、床面はアスファルト製として滲出水の地下浸透を防ぎます。</p>